

CEMS実現に向けた取り組み 【 IEEE1888レジストリの活用例 】

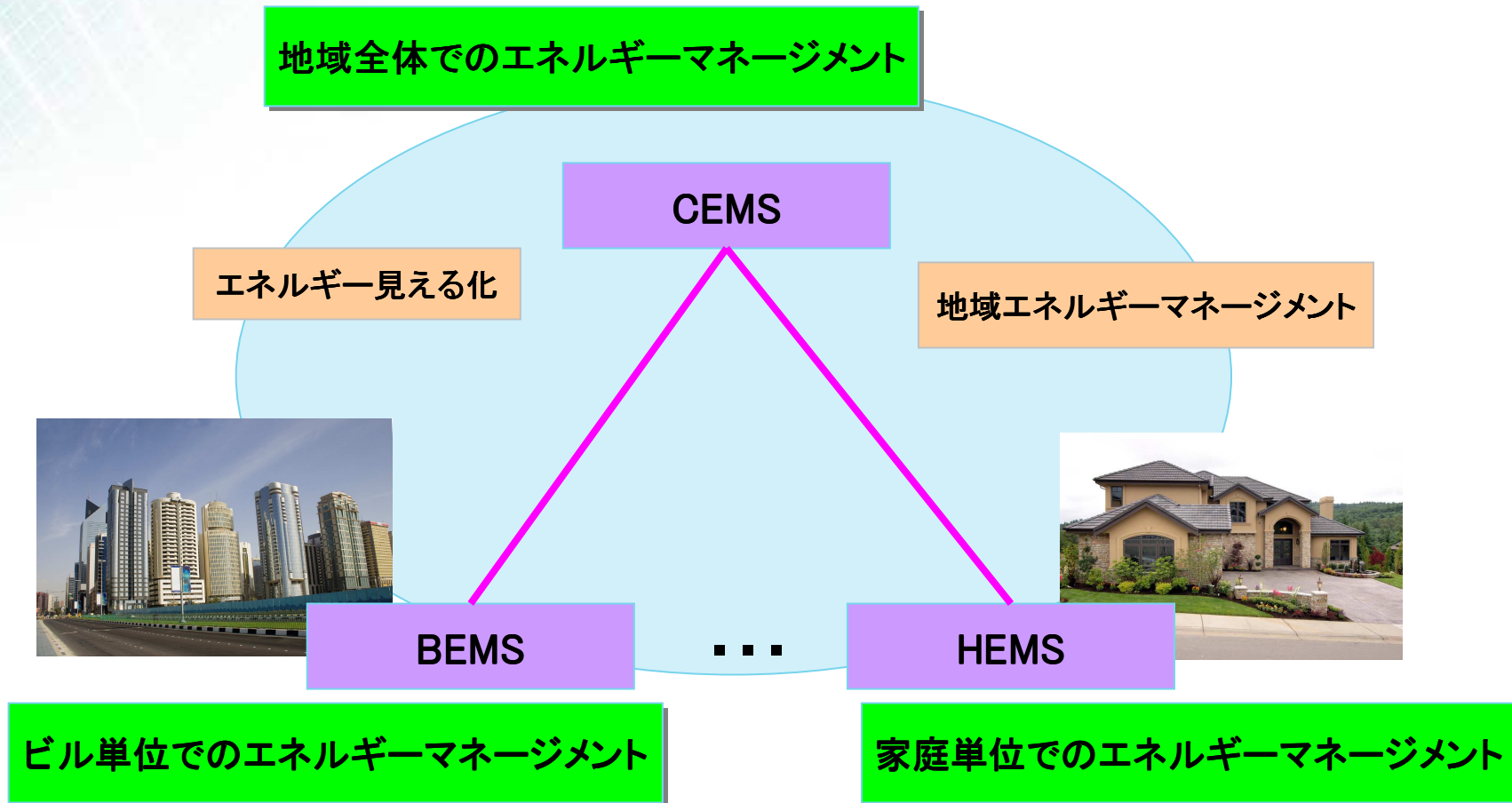
NTTコムウェア株式会社
研究開発部

心をつなぐ、社会をつなぐ



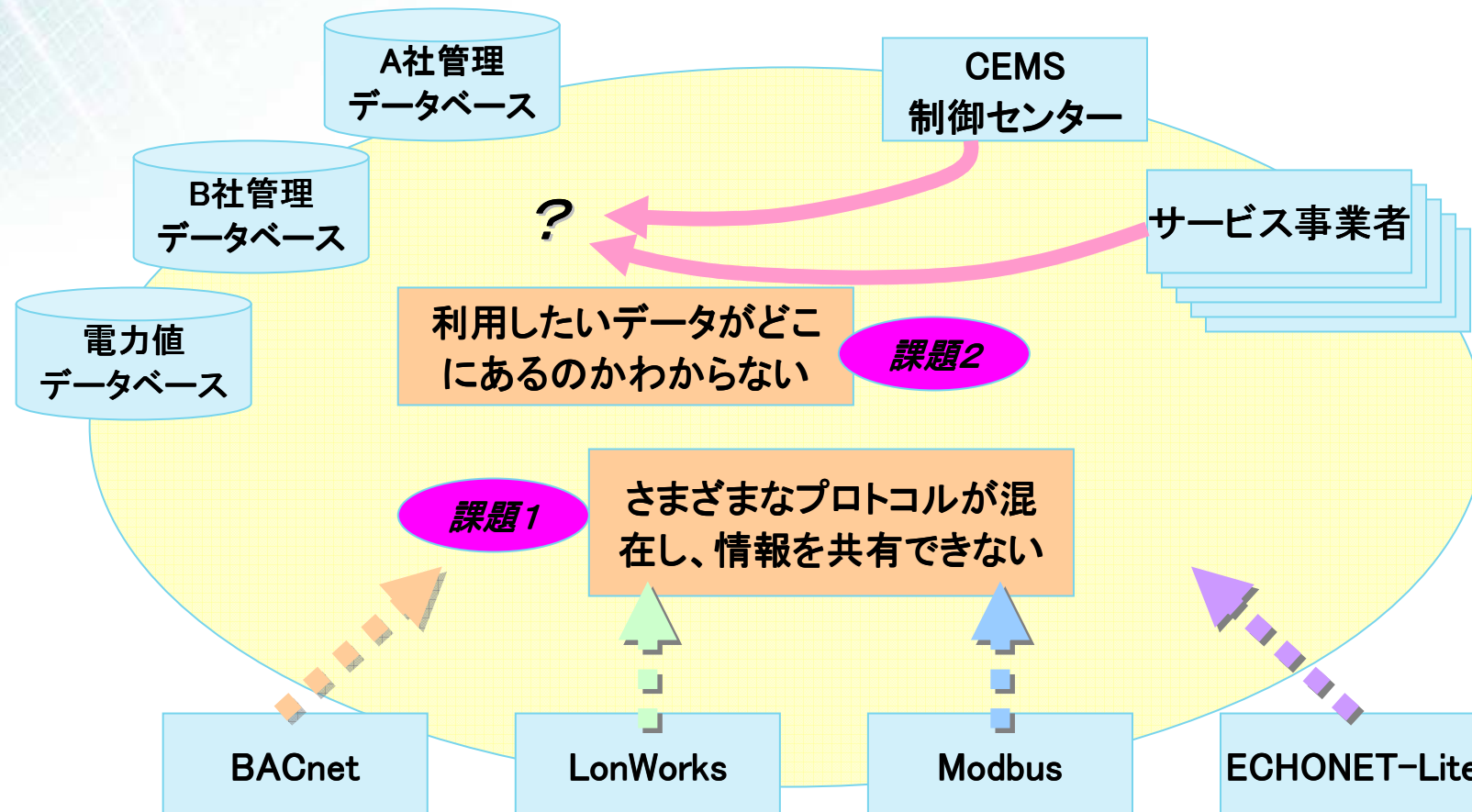
CEMSの実現

BEMSやHEMS等を統合したCEMSが展開され、地域全体の効率的なエネルギー管理が実現されます



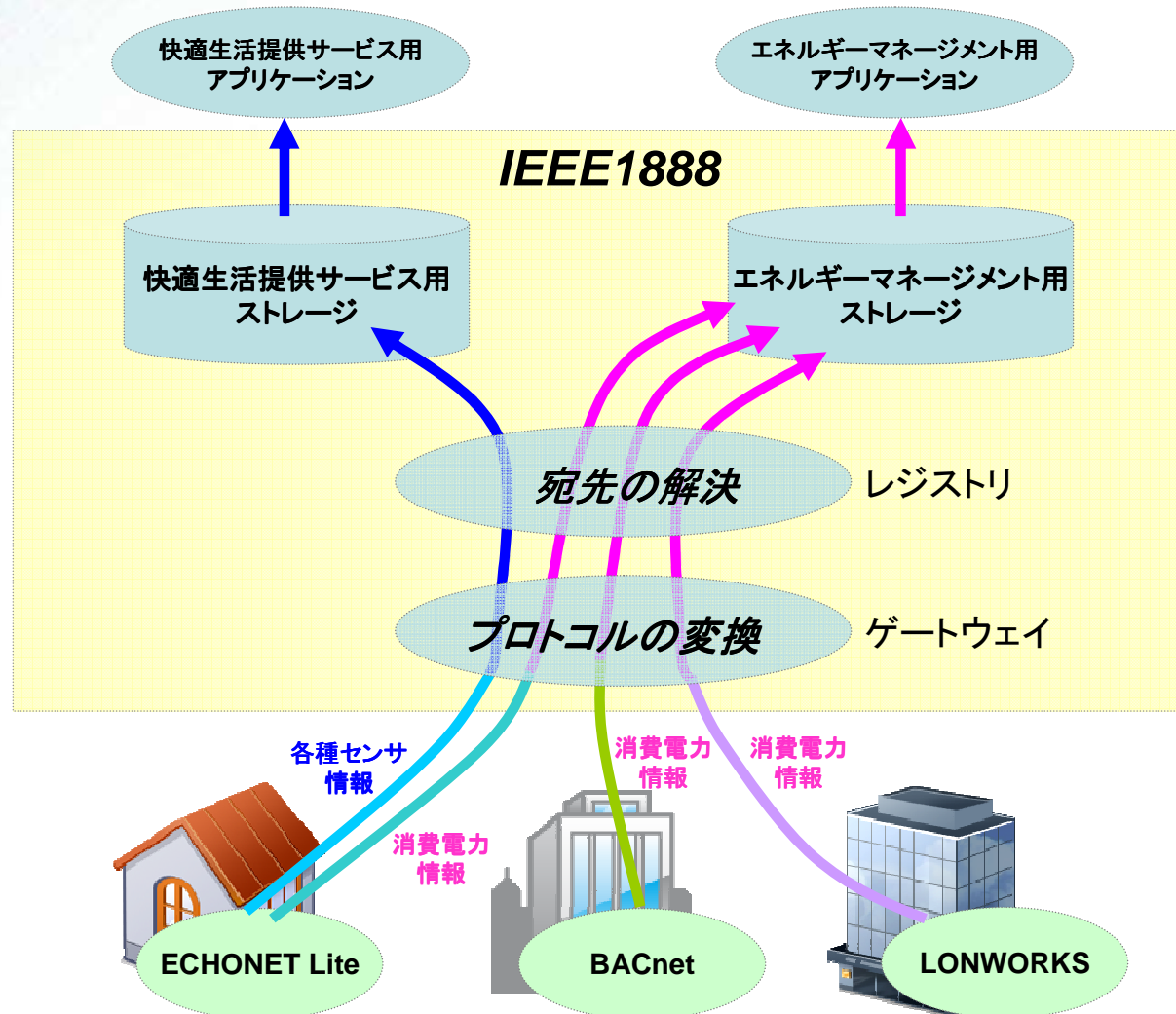
CEMS実現への課題

1. さまざまな通信プロトコルの差異を吸収するとともに、 2. 大量データの管理・流通制御を行う必要があります



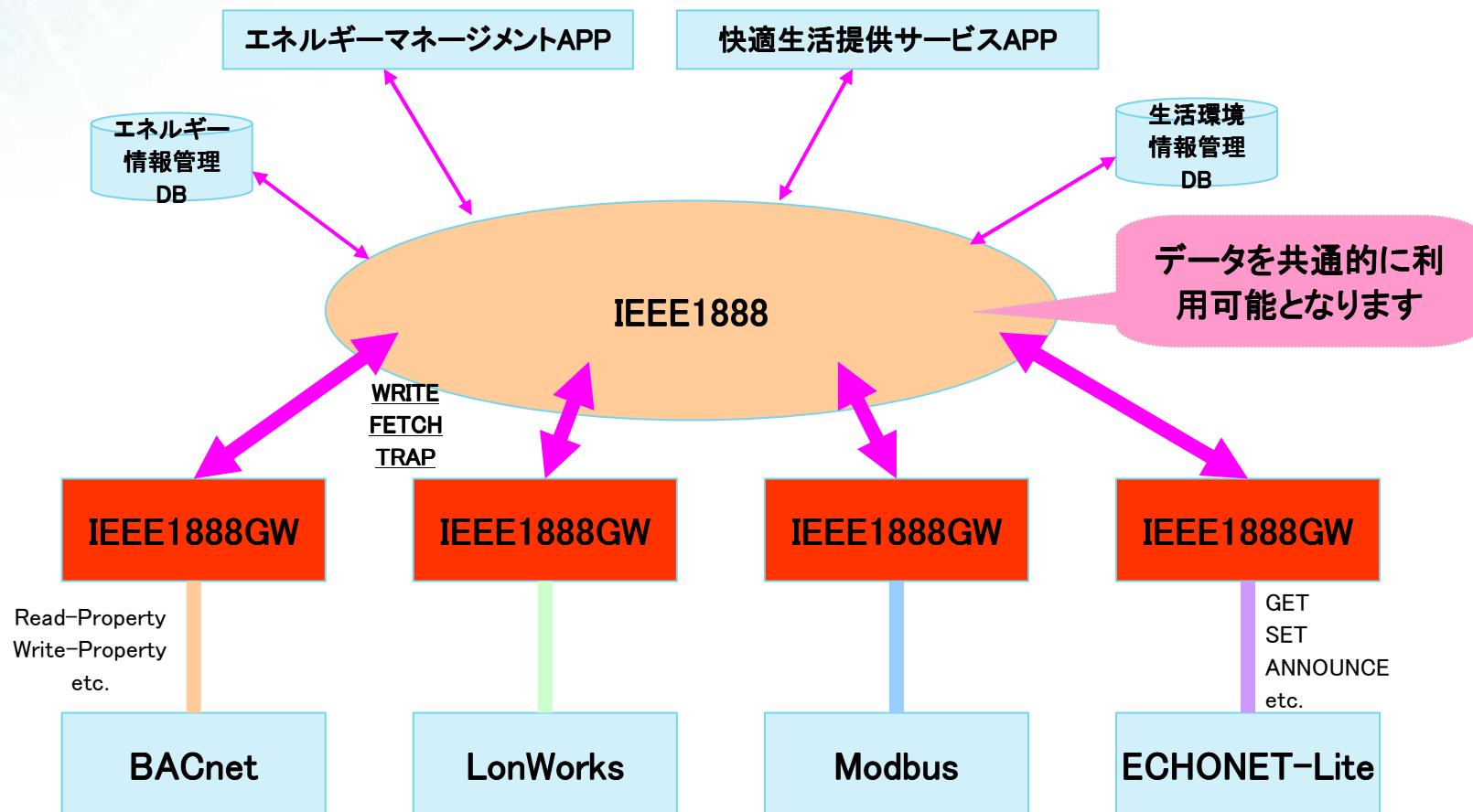
IEEE1888概要

IEEE1888が課題を解決します



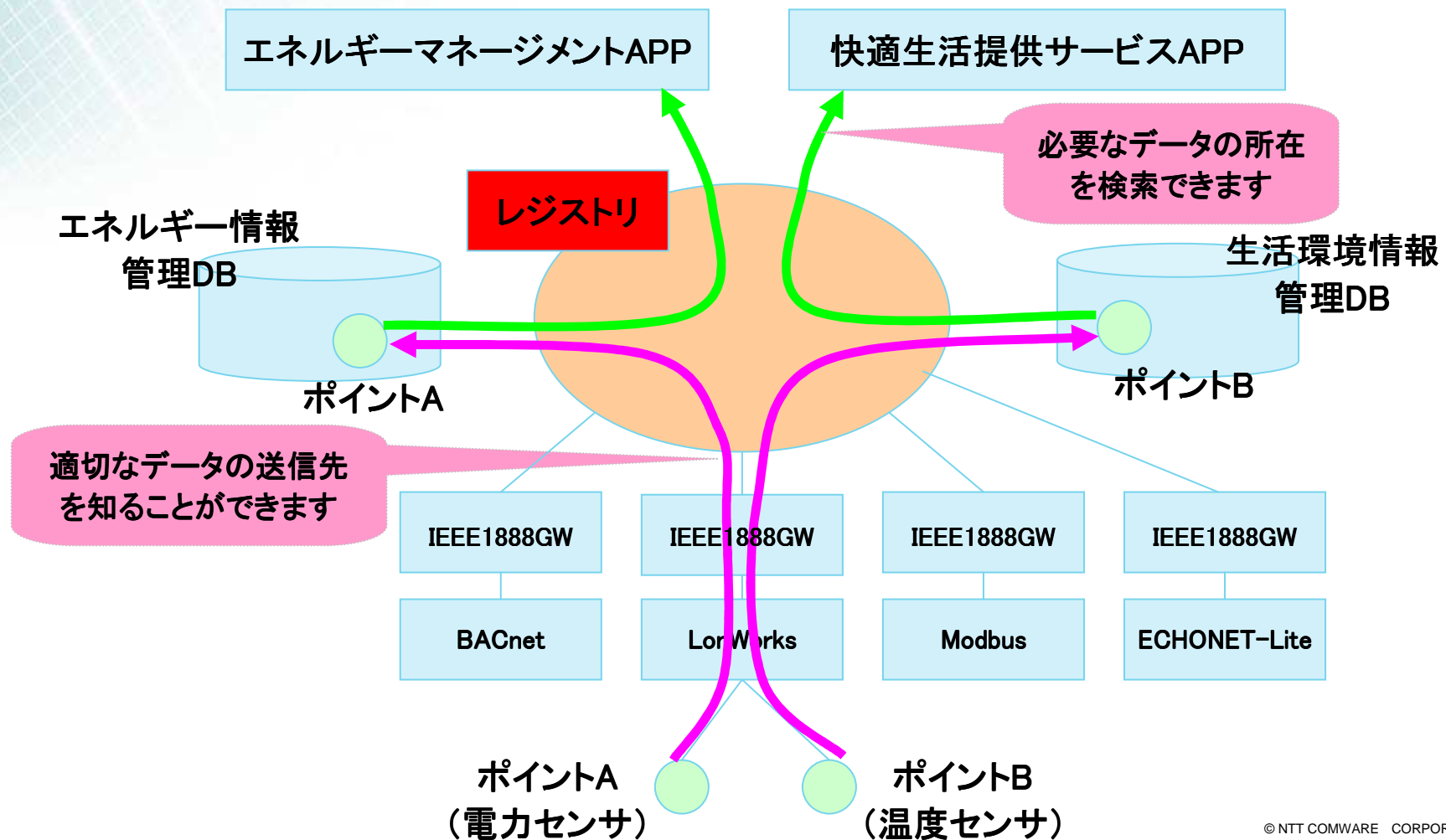
IEEE1888によるプロトコル差異の吸収

課題1の解決 : IEEE1888がさまざまな異なるプロトコルの差異を吸収し、データの共通利用を可能とします



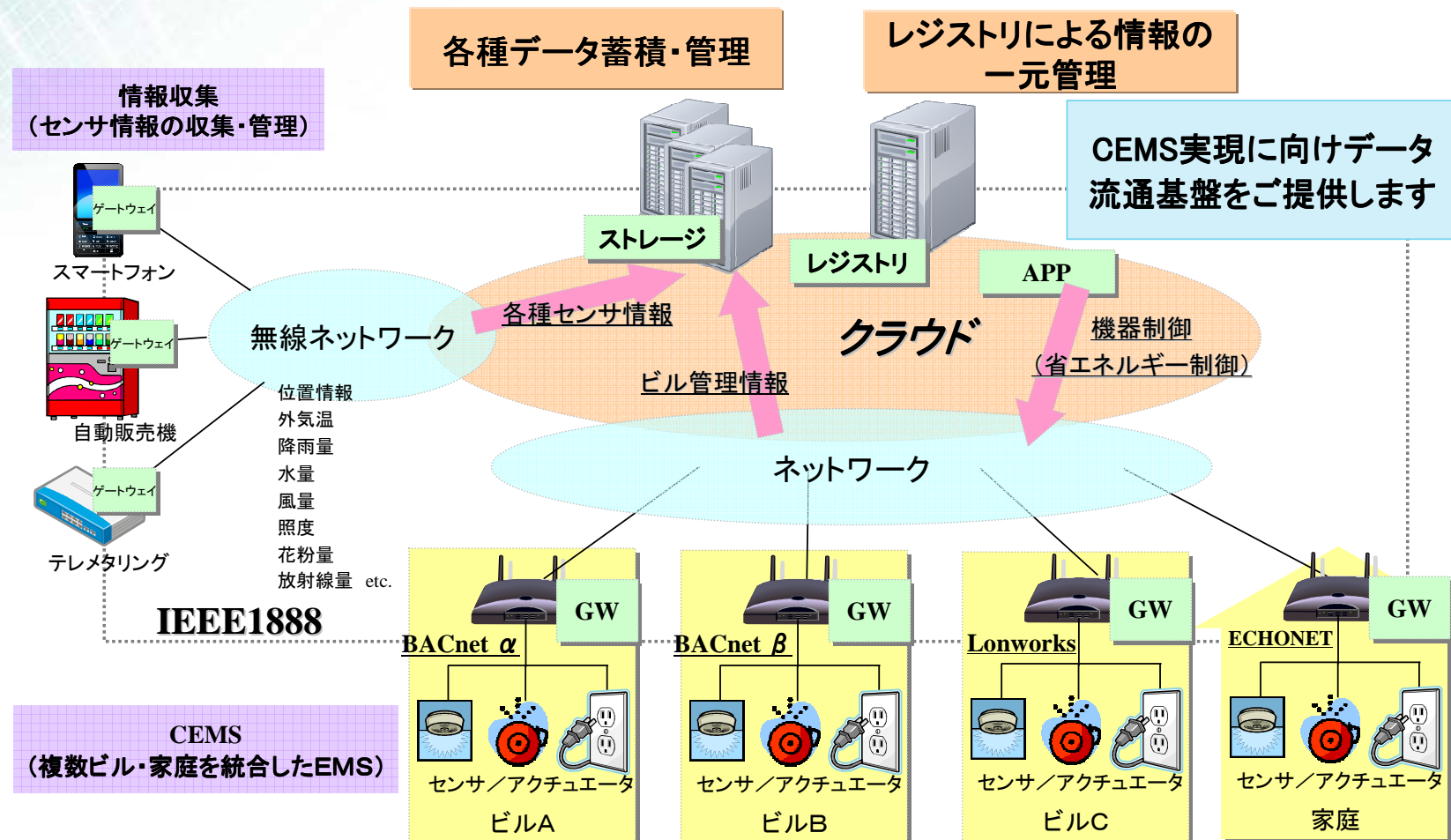
レジストリによるアドレス解決

課題2の解決 : レジストリを用いることでアドレス解決が実現され、柔軟なデータの流通を可能とします。



NTTコムウェアのCEMS実現への取り組み

NTTコムウェアはいち早くレジストリを実装し、CEMS実現に向けて取り組んでいます。コムウェアのレジストリは通信効率を図り実運用に適用可能となっています。



デモをご覧ください

IEEE1888およびレジストリを活用したデモをご覧ください

